

# 春先の急激な気象変化に気をつけましょう！

## 【ニンガチカジマーイ（二月風廻り）に注意】

### 1 ニンガチカジマーイについて

旧暦の二月頃（新暦三月中旬）、台湾付近で発生した低気圧が急激に発達して、沖縄地方を通過するときに、風向が吹き始めの南から西に変わり、その後、北へと変化し、20メートル前後の風速や突風が吹き、海上は大荒れの天気となる事がよくあります。このような現象を沖縄ではニンガチ・カジマーイ（二月風廻り）と呼んでいます。

（平成18年3月12、13日の天気図参照）

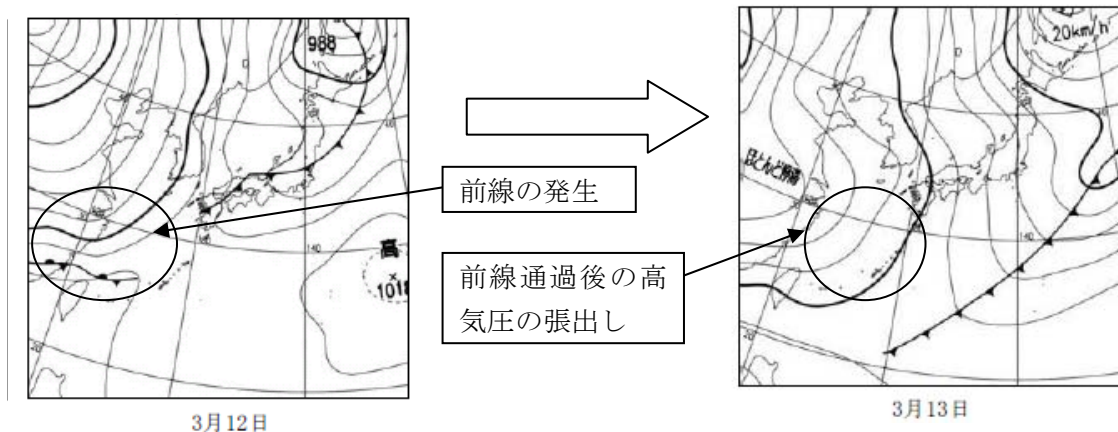
### 2 事故防止のために

天候の急変により、ダイバーやプレジャーボート、漁船等の海難事故が過去に多く発生しています。昨年は、3月12、13日ニンガチカジマーイと思われる低気圧の通過に伴う急激な天候変化により、船舶海難3件、マリンレジャー中の人身事故1件が発生しました。

事故に合わないためにもマリンレジャー活動を行う際には、事前に気象情報等を十分に確認してから出かけましょう。

また、天候の急変が予想されるときは、マリンレジャー活動を中止することも検討しましょう。

### 【平成18年3月12、13日の天気図の状況】



### 【昨 年 の 事 故 事 例】

#### 1 慶佐次沖漁船乗揚げ海難

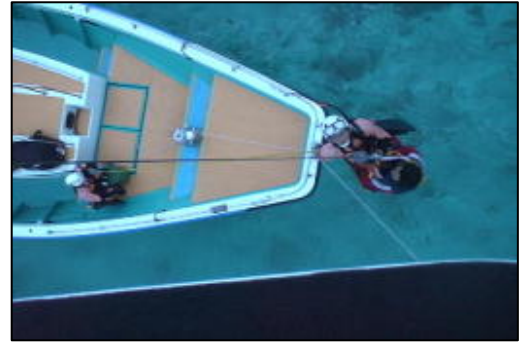
平成18年3月12日午前11時56分、「ソデイカ漁のブイが多数漂流し、油の臭いがする」との情報入手。情報収集した結果、慶佐次沖に乗揚げている漁船を発見した。同船は、3月11日ソデイカ漁の操業後、慶佐次漁港向け航走を開始したが、その後、エンジン不調のため午後11時頃投錨したが錨索が切れ漂流し、午後11時40分乗揚げたものであり、同月12日午前7時頃所属漁協船に救助された。



【乗揚げた漁船】

## 2 ナガンヌ島小型船乗揚げ海難

平成18年3月12日午後2時頃、「ナガンヌ島にダイビング船が乗揚げたようである。ダイビング客も乗船している。」との情報を入手。巡視船・巡視艇各1隻、ヘリコプター1機で対応。乗組員3名、ダイビング客8名の計11名全員を救助した。



【船首部分から吊り上げ救助】

## 3 真栄田岬ダイバー孤立人身事故

平成18年3月12日午後4時40分頃、「6名がダイビング中のところ男性1名が戻ってこない」との情報を入手。巡視船1隻、航空機2機で対応。現場は断崖の岩場で、複数のダイビンググループがおり、行方不明者の情報が交錯するも4名の行方不明者を特定。ヘリコプターにより男女各1名を吊り上げ救助。消防、警察、米空軍救難ヘリ、海兵隊救助隊も加わり、男性2名を陸上側から救助した。



【2名吊り上げ救助】

## 4 パナマ籍貨物船浸水沈没

平成18年3月13日午前1時38分、パナマ籍貨物船から「久米島の北東約150kmの海上で、1番2番船倉に浸水中。危険な状態。救助を頼む。」との情報を入手。巡視船1隻、固定翼機2機、ヘリ2機、特殊救難隊1隊で対応。合わせて、航空自衛隊救難隊及び付近航行船舶にも救助協力要請。航空自衛隊ヘリが2名を吊り上げ救助。付近航行中の貨物船が残る22名全員を救助した。



【沈みつつある貨物船（左）】

### 「自己救命策確保の3つの基本」

- ① ライフジャケットの常時着用
- ② 携帯電話等の連絡手段の確保
- ③ 118番の有効活用（海の「もしも」は118番）



第十一管区海上保安本部 代表電話：098-867-0118

ホームページ：<http://www.kaiho.mlit.go.jp/11kanku/>

携帯電話：<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/11kanku/m/index.htm>